

ENGINEER

MPDP

ダイアリー

高崎 充弘

第50回 【続報】iF design award night 2017
～ミュンヘン受賞式報告～



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。

3月10日、ドイツで開催されたiF受賞式に参加してきました。2011年はiF本社があるハノーバーでの開催でしたが、今回はミュンヘンです。4気筒エンジンを模したBMW本社ビル隣接の広大なショールーム (BMW Welt) で、40カ国以上から2000名を超える受賞関係者が集まり、午後6時から式典 (アワード・ナイト) が始まりました。



2017年の全受賞企業名が記載されたボードから“ENGINEER Inc.”を探し出し、記念撮影。受賞証書を受け取り、iFロゴをバックにプロのカメラマンによるofficial photo撮影会と続きます。



7時からはいよいよメインステージで、iF CEOのRalph Wiegmann氏から75点のgold awardの発表と、受賞者へのトロフィー授与が行われます。日本からはソニーのPlayStationやヤマハの電気バイクバイオリンなど15点がgold awardに輝きましたが、ひとときユ

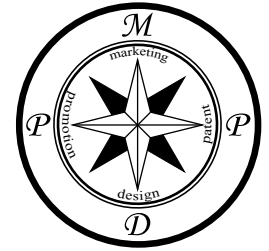
ニークだったのはマツダと資生堂がコラボして開発された香水「SOUL of MOTION」のボトルデザインがパッケージ部門でgold awardを受賞したこと。

実は受賞式の前日、マツダのデザインを統括する前田育男氏 (常務執行役員) とお話しする機会がありました。同社のデザインコンセプトである「鼓動」を香水で表現したいということから資生堂とのコラボ企画を立ち上げ、パッケージデザインはもちろん、香りにも「メタリック (金属)」さをとことん追求されたそうです。

2015年から音や色など新たに5つのタイプの商標制度が日本でも始まりましたが、米国や韓国、欧州にはある匂いの商標はまだ認められていません。そのようななか、車のブランドイメージをフレグランスに展開するという山田氏の発想そのものがとても革新的だと感じました。「ネジザウルスと愉快的仲間たち」の世界観を共有できる異分野の商品とコラボできたら……という妄想も膨らみました。

午後9時からメインホールでの大交流会。受賞者や審査員とのコミュニケーション、プレスからの取材などが活発に行われていました。私たちチーム・エンジニアもここで祝杯をあげました。11時から二次会のダンスパーティー。欧州のビジネススタイルなのでしょうか、踊ったり飲んだりするだけでなく、デザイナーや企業が新しいパートナーを見つけたり、情報交換する場になっていました。

iF受賞式を終え、MPDPの実践によってgold awardを受賞できるような洗練されたデザインと、素晴らしいコンセプトの製品を鋭意開発し、世界一愛される工具ブランドになるとあらためて心に誓い、ミュンヘンを後にしました。



銀：ミュンヘン行ってきたで！ 大感激や～。（*^^*）
ウ：海外旅行2回目で、ヨーロッパは初めてらしいやん。よかったな～。
高：若い銀次郎さんに世界のプロダクト・デザイナーと交流して、刺激を受けてもらいたいと思ってね！
ウ：交流って……銀ちゃん英語しゃべれるんか？
銀：社長はんから勉強しとくようにいわれてたんで、トラベル会話はなんとか……。 (^_^;)
ウ：ほんまかいな。日本語でもたいがい危なっかしいのに……舌嚙まんかった？
高：社内では知財検定とともにTOEIC受検も推奨しているよね？ いつの日か知財用語と英語が準公用語になればと期待しているよ。
ウ：受賞式の前日から、ミュンヘン市内のデザイン関係施設の見学ツアーもあったらしいやん。
銀：ミュンヘンの観光名所になってるBMW Weltはやっぱり迫力あったで。幻の名車やコンセプトカーが一堂に展示されとって、いっぺんにBMWファンになったわ。ゆうてもすぐには買えんけど……。 (^_^;)
高：BMW Museumで見た空間展示（インスタレーション）が大変印象的だった。何百個という銀色の金属球が上下に浮遊・移動し、カオスの状態から徐々にカタチができ、最後には新しい車のデザインに点描される仕掛けだ。
ウ：銀色の球は、デザイナーや技術者一人一人の考え方や個性を表してるんやな！ メンバーが自由闊達^{かったつ}に意見を出し合い、その混沌^{こんとん}としたルツポの中からコンセプトが形作られ、ニューモデルが誕生するっちゅうことでんな。
高：MPDPの最初のプロセスであるM:Marketingに相当する部分だ。BMWもここにかなり力を入れていることが、この展示からよく分かったんだ。
銀：社長はん、それやったらウチの「ボケ文殊」と同じ

ですやん～。突っ込みどころ満載のボケネタ縛りやから、BMWよりレベル高いかもしれまへんで～（2016年5月号）。

ウ：新製品のアイデアを出すための「ボケ文殊ルーム」を社内につくってる最中やけど、完成が楽しみでんな。できたら読者の皆さまにもご紹介しまひよ。（*^^*）
高：デザイナーが技術者より優位に位置づけられていることを印象づけるような、パテや木材で作られた車の実寸大のモックアップの展示もあったね。
銀：まずデザインありき！ って主張しているようでしたわ。
高：Design Driven Innovation、あるいは、Design Firstの考え方であれば、MPDPのPatentとDesignの順序が前後して、MDPPとなる場合もあると思う。
銀：ミュンヘンの照明デザイナー、Ingo Maurer氏のアトリエや、モジュラー家具のUSMのショールームなども見学して、インスピレーションをバンバンもらいましたわ。
高：ドイツ最大のデザインイベントMCBW (Munich Creative Business Week) の期間中だったから、トップデザイナーと直接話ができてラッキーだったね。
ウ：知恵熱がでたって聞いたけど……大丈夫やったんか？
銀：それがやな、最終日の夜に、ある製品のデザインについて、誰かと激しく意見をぶつけ合っている夢を見て……寝つかれんかったんや。（^_^;）
高：いや、それだけ新しい情報をインプットしてくれたということで、一緒に行ってもらった価値があったよ。
ウ：ミュンヘン帰りの銀ちゃんの新しいデザイン感性に、期待と注目が集まってまっせ～。（*^^*）
高：受賞作品はハンプルクでジャンルごとに時期を分けて展示され、ネジザウルスZは10月以降になる予定だ。また機会があれば視察に行きたいね。
ウ・銀：は～い、ぜひお供したいです～。（*^^*）